

林地開発行為事前申出書

令和 年 月 日

鹿児島県知事 殿

住所

氏名

〔法人にあっては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

次のとおり開発行為をしたいので、林地開発事業計画書を提出します。

開発行為に係る 土地の所在場所	
開発行為に係る 森林の面積	
開発行為の目的	
開発行為の着手 予定年月日	
開発行為の完了 予定年月日	
備 考	

注 面積は実測とし、ヘクタールを単位として小数第4位まで記載すること。

林地開発事業計画書 - 1

事業又は 施設の名称			
開発行為に係る 土地の所在場所			
開発工事	住所	郵便番号	電話番号
	設計者	氏名 担当者氏名	
開発工事	住所	郵便番号	電話番号
	施工者	氏名 担当者氏名	
位置 図 5 万 分 の 1			

- 注1 位置図に開発位置を赤で示すこと。
 2 現況写真（全景）を添付し，開発区域を赤で示すこと。

林地開発事業計画書－２

面	区 分	地域森林計画対象民有林			そ の 他	合 計		
		普通林	保安林	計				
積	開発区域	ha	ha	② ha	ha	① ha		
	開発行為に係る区域	ha	ha	③ ha	ha	ha		
地 況	地 質			土 壤				
	傾 斜	° ～ ° 平均 °		標 高	m ～ m			
現 況 別 実測面積	山 林	ha	保安林	ha	原 野	ha		
	田	ha	畑	ha	宅 地	ha		
	里道・水路	ha	その他	ha	計	① ha		
土 地 利 用 計 画	区 分	普通林・その他		保 安 林	計			
	残 置 森 林	ha		ha	④	ha		
	うち 16 年生以上	ha		ha	⑤	ha		
	造 成 森 林	ha		ha	⑥	ha		
	残 置 緑 地	ha		ha	⑦	ha		
	造 成 緑 地	ha		ha	⑧	ha		
	施 設 用 地	ha		ha		ha		
	防 災 施 設 用 地	ha		ha		ha		
	その他 ()	ha		ha		ha		
	計	ha		ha	①	ha		
森 林 率	$\frac{④+⑥}{②} \times 100$		残置森林率	$\frac{⑤}{②} \times 100$		緑 地 率	$\frac{④+⑥+⑦+⑧}{②} \times 100$	
	%			%			%	

林地開発事業計画書 - 3

事業計画の概要					
切土・盛土計画	切 土 量	盛 土 量	不足土・捨土量		
	m^3	m^3	m^3		
	(施工方法)				
不足土調達					
残土処理計画					
水の確保に関する現況と対策	水利用の有無	用水の種類	戸数面積	代替施設等の計画	同意の状況
	有 無				
緑化計画	造成森林				
	造成緑地				

林地開発事業計画書

事業又は 施設の名称					
申請者	住所	〒		TEL	
	氏名	担当者			
事業計画の概要					
現況	地質			土壌	
	傾斜	° ~ °		標高	m ~ m
面積	区分	<small>地域森林計画対象民有林</small>		耕地その他	計
		普通林	保安林		
	開発区域	ha	ha	ha	ha
開発行為に係る区域	ha	ha	ha	ha	
土地利用計画	区分	普通林・その他		保安林	計
	残置森林	ha		ha	ha
	造成森林	ha		ha	ha
	残置緑地	ha		ha	ha
	造成緑地	ha		ha	ha
	施設用地	ha		ha	ha
	その他()	ha		ha	ha
計	ha		ha	ha	

注 面積は実測とし、haを単位として小数第4位まで記載すること。

工事工程計画表

年 月	着工年月日				平成 年 月 日				完了年月日				平成 年 月 日			
	工	種														

注1 工種については具体的に分類すること。（例：準備工，切土工，盛土工，沈砂池工，調整池工，擁壁工，排水施設工，法面保護工，植栽工等）
 1 防災施設工事を先行させること。

擁壁計画一覧表

擁 壁 番 号			
形 式			
構 造	長 さ L (m)		
	高 さ H (m)		
	天 端 幅 W (m)		
	堤 底 幅 B (m)		
	法 勾 配	表	
		裏	
転 倒	常 時	$e \leq B / 6$	
	地震時	$e \leq B / 3$	
滑 動	常 時	$F_s \geq 1.5$	
	地震時	$F_s \geq 1.2$	
地 盤 反 力	常 時	$Q_1 (t/m^2) \leq$ 容許力	
		$Q_2 (t/m^2) \leq$ 容許力	
	地震時	$Q_1 (t/m^2) \leq$ 容許力	
		$Q_2 (t/m^2) \leq$ 容許力	
備 考			

- 注1 擁壁番号は防災施設平面図と一致させること。
 2 設計根拠（安定計算）を添付すること。
 3 構造物の安全率等については、鹿児島県林地開発許可制度の手引によることとする。

調整池の必要性の検討

ネック地点の検討

流域 番号	河川等名	A) 流下能力 (m^3/s)	B) 30年確率降雨による開発前の流量 (m^3/s)	C) A < B に○印	C 欄 に ○ 印 が あ れ ば 右 の 欄 を 計 算 す る こ と	D) 30年確率降雨による開発後の流量 (m^3/s)	E) $\frac{D-B}{B} \times 100(\%)$	備 考

A < Bで、かつ、Eが1%以上増加する場合には調整池が必要である。

検討の結果、調整池は〔 必要 不要 〕である。

- 注1 土木部河川課の基準（大規模開発に伴う調整池設置基準）で調整池を設置する場合は、調整池の必要性の検討（第7号様式）、ネック地点等選定の同意書（第8号様式）及びネック調査地点の断面図は、不要とする。
- 2 土木部河川課の基準等で調整池が不要であっても、この調整池の必要性の検討で調整池が必要であると判断されたときには調整池を設置すること。
 - 3 ネック地点等の選定に当たっては、ネック地点等選定の同意書（第8号様式）が必要である。
 - 4 設計根拠を添付すること。

ネック地点等選定の同意書

令和 年 月 日

殿

河川管理者

住所

氏名

印

あなたが森林法第10条の2に基づき林地開発行為を行うにあたり、調整池の必要性の検討のための「河川等のピーク流量を安全に流下させることのできない地点（ネック地点）」の選定について同意します。

摘要

調整池計画一覧表

調 整 池 番 号		
形 式 （ 構 造 ）		
集水面積（ha）	計画地内	
	計画地外	
流 出 係 数	開 発 前	
	開 発 後	
開発後の調整池への流入量（ m^3/s ）		
許容放流量（ m^3/s ）		
オリフィスの寸法（m）		
調整後の放流量（ m^3/s ）		
必要調整容量（ m^3 ）		
設計調整容量（ m^3 ）		
必要堆砂量（ m^3 ）		
設計堆砂量（ m^3 ）		
余 水 吐	余水吐の寸法（m）	
	100年確率の洪水流出量（ m^3/s ）	
	余水吐能力（ m^3/s ）	

注 設計根拠を別途添付すること。

沈砂池計画一覧表

沈砂池番号	
設置時期の区別 (工事中・完成後・両方)	
形式(構造)	
必要堆砂量(m ³)	
設計堆砂量(m ³)	
備考	

注 設計根拠を別途添付すること。

通 知 書

令和 第 年 月 号 日

様

鹿児島県知事 印

令和 年 月 日付けで事前申出のあった林地開発行為について審査したところ、森林法第10条の2第2項の許可基準に適合していると認めます。

また、工事施工中における土砂流出防止については、万全を期してください。